

7月22日（土） 交流1日目



【遊行ばやし練習会】

8時間かけて藤沢市へ到着。

夕食会の後、さっそく遊行ばやしの練習が行われました。村岡中学校家庭部のみなさんが、優しく丁寧に教えてくれたおかげで、短い時間ながら覚えることができました。また、慣れない子ども達のために地域の方が着付けを手伝ってくださいました。

たくさんの方の協力で成り立っている活動であることを実感したことでしょう。



【遊行ばやしコンテストに参加】

湘南の海のように、明るくハツラツとした囃子の活気ある踊りです。

ほかの地域の盆踊りを体験するだけでなく、踊りながら藤沢市の町並みも見ることができました。



朝7時に羽後町役場を出発し、バスで長距離を移動してきた子ども達。疲れもあったと思いますが、たくさんの参加者とともに、頑張りました。

また、「盛岡さんさ」「阿波踊り」など、県外の有名な伝統芸能を観覧することもできました。

8月23日（日） 交流2日目



【「がんけ」の練習】

市民大盆踊り大会に向けて、自主練習を始めた子ども達。

事前の練習会で「音頭」は全員が踊れるようになっていたものの前日に「がんけ」を踊れたのは4名だけでした。村岡中学校のみなさんとの交流や遊行ばやしコンテストへの参加を通して、「踊れるようになってみんなの前で披露したい。」という気持ちが芽生えたのではないのでしょうか。

参加者同士で教え合い、二時間ほどで全員が踊れるようになりました。



【遊行寺での西馬音内盆踊り披露】

事前学習会と当日の自主練習の成果を発揮し、参加者全員で西馬音内盆踊りを披露することができました。

西馬音内盆踊り保存会のみなさんとの交流も行われました。



【羽後中学校での体験報告会】

踊りの違いや生活環境の違い、村岡中学生との交流会の感想、お世話になった方々への感謝の気持ちなど、交流会に参加したことで気付いたこと・感じたことを1年生103名に伝えました。



【交流事業の成果】

羽後中学校の参加者は、今回の体験を生かし、8月16日から行われた西馬音内盆踊りに踊り手として参加しました。また、村岡中学校では交流会参加者が文化祭で西馬音内盆踊りを披露する予定となっています。